

科目名	校外実習 Job Practice			担当教員	学科長		
学 年	4 年	学 期	集中	科目番号	09315	単位数	1
分 野	専門	授業形式	実習	履修条件	選択		
学習目標	目標区分 (C-2)：課題設定能力ー的確な問題提起を行い計画的に実行できる。 (D-1)：論理的表現能力ー学理に基づいて論理的な記述・表現ができる。 企業等へのインターンシップに積極的に参加し、電気電子・情報通信分野の技術動向を把握する。また、実習での製造技術や製品管理等において習得した専門知識がどのように活かされているかを確認し、実務体験を通じて技術者としてのコミュニケーション能力や倫理観の必要性について考えるとともに次年度の進路選択に役立てる。さらに、実習で得た経験や感想を報告書にまとめ報告会にて説明できる能力を育む。						
進め方	4学年の夏期休暇を利用して、企業にて30時間以上の実習を行う。実習内容については、受け入れ先の実習教育担当者の計画、指導に従う。実習終了後、実習報告書を提出し、報告会での発表を義務付ける。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	1. 実習先企業を決定する。 2. 「傷害保険契約書」、「校外実習願」、「校外実習申込書」、「誓約書」、「承諾書」の書類を提出する。 3. 受入れ企業の実習計画に従い実習を行う。 4. 実習終了後は「校外実習報告書」、「実習報告書」を作成し、担任に提出する。 5. 報告会において、実習内容等を報告する。			- 種々の情報を基に、自主的に企業を決定し、実習企業の選択理由書や実習に対する抱負を記述できる。(C-2) - 速やかに必要書類を作成し、提出できる。(C-2) - 実習担当者の指導に従い、今までの学習成果を生かして実習を行うことができる。(C-2) - 分からない点があれば実習担当者に聞き、技術動向を把握できる。(C-2) - 実習内容等を報告書にまとめ、発表資料を作成することができる。(D-1) - 決められた発表時間内に、実習内容や成果を発表することができる。(D-1)			
評価方法	- 実習企業の選択理由書や実習に対する抱負をまとめたレポートから課題設定能力を評価する。(評価の割合：50%) - 実習報告書と発表用資料から、論理的表現能力を評価する。(評価の割合：50%)						
関連科目	これまでに学習した教科内容(知識)だけでなく、実験実習により育んだ実行力、コミュニケーション能力が必要となる。						
教 材	実習先の企業にて準備される。						
備 考	※ 企業にて30時間以上の実習を行うことが前提条件である。						